“living our dream” Tour in the U.S.A

アドベンチャーライダー jasmine T Cardwell の

PHOTO&TEXT／jasmine T Cardwell

この梅雨を乗り越えれば、いよいよ夏ですね!
さんさんと輝く夏の太陽が、元気をくれる大好きな季節!
さぁ、この夏は何処にツーリングに出掛けますか?

本名：**晃良** [テルミ] Cardwell（36歳）
出身:愛知県豊橋市
特技:サーフィン、ゴルフ、武道（剣道二段、居合道四段、杖道参段→武道をやっていた経歴より、侍ライダーを名乗っています。）
バイク:BMW F650GS
www.samurai-rider.com
jasmine@samurai-rider.com

宿づくりの手順

キャンプサイトに着いたら、まずはテントを張ります。しかーし、その前に蒸れたブーツを1秒でも早く脱ぎたい!! ライディングソックスは履いたままでサンダルに履き替え（危険な虫がいる可能性が高いので）、虫除けスプレーと消臭スプレー（これ重要！ ブーツ、臭いっす!!）を足にかけたら、軽装に着替えて作業開始です。これが雨の日だと作業がスムーズにおこなえないので、イラッとしながらの宿作りとなります（笑）。

テントを張り終わったら、スリーピングマットと枕に空気を入れてテントの中へ放り込み、その後天候に合わせてカクーンと寝袋を用意し、ヘッドライトをテントの天井にあるポケットに設置すれば完成です。雨の場合は、テントの外側にレインフライ（雨よけのレインコート）をかけます。慣れてきたら、だいたい10分もあれば本日のお宿が完成します。

当然、キャンプには危険も…

キャンプ場にもよりますが、自然の中でのキャンプは危険も伴います。危険な昆虫類や草木も存在します。特に、寝ている間にブーツの中に危険な生物が入る可能性が！

そこでADVライダーの友達と意気投合したGood idea…、シャワーキャップをブーツに被せることで危険回避！ 州によっては、サソリやタランチュラも普通に生息しているアメリカ。備えあれば憂いなし。単に気をつけるだけでなく、工夫ひとつで思いがけない危険を回避出来るのも、キャンプの醍醐味であったりします。

何はともあれ、旅の終盤には自然界の音をようやく素晴らしいと感じられるようになり、キャンプを楽しむことが出来ました！ とはいえ、2泊3日くらいのワイワイとしたキャンプがいいなぁ～と、つくづく思いましたよ（笑）。

キャンプに必要なアイテムをCHECK!!

皆さん、こんにちは!! ADVライダーのjasmineです！ 誰もがわくわくするキャンプ！ 川辺で、海辺で、山の中で…。食材を持ち寄って、みんなでワイワイタ食作り！ キャンプファイアーを囲んでギター片手に歌っちゃう!? なんて夢のような楽しいキャンプは妄想の中だけで…。ADVライダーにとって、キャンプサイトでの毎日の寝泊まり生活は、前回号でも少し触れましたが決して楽しいだけではなく、精神的にも肉体的にも多少の強さが必要！

今回は慣らし旅ということで、1週間に1回ペースでホテルに宿泊しましたが、どんなに小さな薄汚れたホテルでも、屋根があり、雨風を凌げ、プライベート空間が確保された安心できる場所が、どれ程有難いかを身をもって感じました。

バイクに積めるキャンピンググッズには、やはり重さや大きさの限界があります。毎日の寝床なので、本当は大きなテント、ふわふわのスリーピングマットがいいなぁ～なんて欲はあっても、実際持ち運びが困難なので必要最低限になります。まずは、私が実際に持って行ったキャンプ用品一式をご紹介します。

キャンプの jasmine 的な持ちもの

❶テント
これが一番重要！雨風を凌ぐ、私とマイケルの道中の大切なお家。3人用で少しゆとりがある程度の広さ。畳2畳弱

❷スリーピングマット
石や砂地でも、これがあればごつごつとした痛さや地面の冷たさを回避できます

❸寝袋
夏のキャンプでも、山間部の涼しい所ではやはり必要です！ 朝方にはミノムシ状態で包まって寒さを凌いでいる日もありました

❹カクーン
薄手の寝袋のことで、厚手の寝袋の内側に包まり、汚れや自分の汗の湿気から寝袋を守ります

❺枕
空気を入れる枕です。意外と重宝しました

❻キッチンセット
今回はあまり活躍しませんでしたが、この一式があれば、基本何でも作れます

❼ヘッドライト
必需品です!! ワイルドキャンプでは特に、ヘッドライトが無ければ夜動き回ることは出来ません

❽延長コード
あれば絶対に役に立ちます！ 持って行くことをお勧めします

❾救急セット
バンドエイドや消毒の他、痛み止めなどの常備薬もいれておきます。救急セットは言うまでもなく必須です

キャンプに必要な品々を全て袋に入れるとこうなります。これらをサイドバッグに詰め込みます！

ペンシルバニアの見どころをツーリングリポート!

キャンプに必須のアイテムは、ぜひ参考にしてみてくださいね～！ さて、ここからはADVライディングリポートです！

ヴァージニア州を後に、ウェスト・ヴァージニア州、メリーランド州と北上して行き、ペンシルバニア州（以下PA州）に入りました。西海岸とも南部ともまた一味違うアメリカが姿を現します。ニューヨークの煽りを受けて、道行く人々はとてもお洒落で、小さな町に至っても素敵な町並みと人々に魅了されます。

しかし悲しい現実…、西海岸よりも東海岸のほうが、アメリカの社会問題となっている肥満の人口が多いように思いました。揚げ物の多い南部の料理や、冬の厳しい寒さなどの悪条件が重なり、肥満人口増加に拍車がかかっていると思われます。

PA州は主人マイケルの出身州で、何度か訪れたことのある、私にとってはアメリカで第2の故郷とも言うべき州です。今回はPA州の中南部で、メリーランド州との州境に程近いゲティスバーグと、州の丁度真ん中に位置するペンシルベニア州立大学のあるカレッジエリアを訪れました。

州都はフィラデルフィアで、州の南東部に位置し、アメリカ国内で6番目に大きな都市です。フィラデルフィアはアメリカの歴史上、国内で一番最初に都市として認定された場所です。アメリカの大都市が発展していくきっかけになった大都市と言えるでしょう。

PA州、フィラデルフィアのダウンタウンにて。上はお昼で下は夜の写真です

州の最東端はニューヨーク州都心部と隣接しており、フィラデルフィアからは100マイル弱（約150km）、約2時間という距離なので、交通の往来が非常に激しいのも特徴のひとつです。

ここフィラデルフィアでとても有名な、チーズステーキ・サンドウイッチはとても美味です！ 訪れた際には、是非味わって欲しい地元の名物です！

カレッジエリアは、マイケルが学生時代を過ごした彼にとっては懐かしのエリアで、私に見せてあげたいとの彼のの計らいで立ち寄りました。普段は学生達で盛り上がっているところなのですが、私達が訪れた時期は丁度夏休みだったため、学校周りは閑散としており、残念ながら何の活気も感じられませんでした。

しかしここでも一つ学んだことが!! 日本で大ブレイク中のベン・アンド・ジェリーのアイスクリームってご存知ですか？ 実はベン君とジェリー君はペンシルベニア州立大学出身なのです。大学の敷地内にある大きなアイスクリーム店「クリーマリー」は、大学講義の一環で生徒達がビジネスを含む、アイスクリームのHow toを学ぶ場所。ベンとジェリーも学生時代、ここで出会い、共に学び、独立して、世界で注目されるアイスクリーム店のオーナーとなったわけです。ここのアイスクリーム、美味でした！ ある1人のBeemerバイカーと出会い、話をしたら、なんと片道2時間かけて奥さんに頼まれたアイスクリームを買いに来たんだとか！ さすが、アイスクリーム年間消費量世界一のアメリカ～!!

次回は大都市ニューヨーク編をお送りします。“living our dream, living my journey...” I will see you next month!!!

ペンシルベニア州立大学の中にあるクリーマリーというアイスクリーム屋さんの前で。アイスクリームが大好きな同大学出身マイケル（主人）と

ゲティスバーグは歴史的古戦場で、その戦いは、私達がいつかの世界史の授業で習った記憶がある、南北戦争のことを指します。勉強嫌いの私でも、なんとなく聞いたことはあるなぁ…という感じでしたが、やはりその土地に足を踏み入れると、歴史的背景を知りたくなるものですね。簡単に説明すると、南北戦争とはアメリカの内戦で、この戦いをもって黒人奴隷制度の廃止が決まるという、大変革命的な内戦だったのです。そして当時の大統領だったアブラハム・リンカーンは、後のアメリカに多大なる名誉を残しました。この戦い如何によっては、アメリカの州が50州にはならなかったかもしれないという、今の国自体をも左右する大きな戦いだったことが伺えました。